

# 北海道

NO 121  
平成22年11月15日

# 碎石だより

(社)日本碎石協会北海道地方本部

社団法人 日本碎石協会

碎石フォーラム2010(東京) 第37回全国碎石技術大会

平成22年10月28日(木)~29日(金) 会場:東京都品川区東大井「きゅりあん」



もう少しでバトンタッチ



《スカイツリー》



只今高さ 497m 世界一

### 採石業務管理者試験前準備講習開催

採石業務管理者試験準備講習会を8月19日(木)～20日(金)、北海道立道民活動センターで開催いたしました。

講習会は3年ぶりの開催となり全国各地から30名の受講者が二日間の講習に臨みました。

講師には、採石法令担当に(株)日本砕石協会専任講師 杉野 亘氏、採石技術担当講師に(株)日本砕石協会専任講師 源田茂男氏(奈江採石協同組合専務理事)がいたり、採石法令では過去の設問に対する解答と設問傾向を講義され、採石技術については試験準備だけに捉われずに、業務管理者として従事するに当たっての心構えや採掘方法、また採石跡地の緑化方法など山造りの基本についても熱心に講義されました。

自社の山造りの実践に基づいた講義は、業務管理者となった場合大いに役立つことと感じました。

講習会の受講のみで試験に合格するとは限りませんので、受講者の皆さんは自学自習に励まれ、10月8日(土)に各地の総合振興局等で行われた試験に臨まれたことと思います。

試験結果発表は11月5日(金)に発表されました。講習会を受講された方をはじめ受験された皆様の合格を祈念しております。



### 砕石フォーラム2010(東京) 第37回全国砕石技術大会 開催

平成22年度第37回全国砕石技術大会「砕石フォーラム2010(東京)」が10月28日～30日東京都品川区東大井の「きゅうりあん」で開催されました。

参加者は、正会員、賛助会員、来賓、一般合わせて約370名規模の開催で、北海道からは、発表者、正会員、砕石事務局会の14名が参加いたしました。

砕石事務局会の参加は事務局会の研修の一環として参加したところです。

はじめに、(株)日本砕石協会「安全管理功労表彰」で安全優良事業所2社、安全管理功労者2名、安全優良者6名が表彰され、(株)日本砕石協会「技術賞の表彰」で技術業績賞1名、砕石環境賞2名、砕石奨励賞2名が

表彰されました。

技術発表は、特別講演8課題、一般講演8課題、賛助会員講演7課題の23課題の発表でした。

正会員による一般講演が8課題と少なかったことは砕石業界を取り巻く厳しい環境を映しだしているようで寂しく感じました。

北海道からの発表は平成17年度以来の発表で、岡本興業(株)開発グループ 土壌環境チーム清水 裕氏が「砕石場から発生する脱水ケーキを利用した重金属不溶化材の検討」と題して研究成果を発表されました。



発表している清水裕氏 (岡本興業(株))

特別講演は、北海道ではあまり話題にならないコンクリートの乾燥収縮問題に対する取組についての報告が多く、乾燥収縮の原因は骨材の材種ではなく骨材の品質にもよることから、自社の骨材の品質検査を行うことの必要性を説いていたのが印象的でした。

採石跡地の緑化についても講演がありました。計画的な緑化作業が必要であることは理解するものの、鳥獣被害対策（鹿食害）を図られなければ緑化は終焉しないことから、行政に対する働きかけも重要な課題であると考えさせられたところです。

「重機災害対策マニュアルの制作について」の発表があり、近年、重機運転に従事による災害が多発していることから、マニュアルを制作し類似災害防止を図ることを目的としており、重機災害防止対策マニュアルは正会員各社に配布されたところです。

安全大会、安全懇談会等で活用し重大災害防止に役立てて頂きますようお願いいたします。

北海道から全国砕石技術大会へ参加することは経費等の問題もあり、多くの会員が参加することは困難な状況であると思います。

これまで北海道地方本部で開催してきた北海道砕石技術研究会も第10回を数えており、会員の技術の研鑽、会員相互の情報交換、交流の場として大切な研究会であると考えております。このことから北海道地方本部は、第11回北海道砕石技術研究会開催に向けて検討していく考えております。

会員の皆様には自社で取り組まれている課題の成果等についての情報を寄せて頂きますようお願いいたします。第37回全国砕石技術大会に参加されました皆様大変ご苦勞様でした。

### 北海道国有林採石協会 創立30周年記念式典開催

7月15日（木）、北海道国有林採石協会創立30周年記念式典が札幌後楽園ホテルにおいて開催しました。ご来賓として、北海道森林管理局から山崎信介局長、上野司郎



森林整備部長、杉山 高販売第一課長、半澤 清石販売担当官、砕石業界からは岡本繁美(株)日本砕石協会北海道地方本部長、塚田陽威全国国有林採石協会会長をはじめ、北海道国有林採石協会歴代会長、副会長、前専務理事などのご臨席賜り、来賓、会員総勢45名が集い、記念式典、記念講演、記念祝賀会を開催いたしました。

記念式典は、社長の式辞にはじまり、山崎森林管理局長、岡本日本砕石協会北海道地方本部長、塚田全国国有林採石協会会長にご祝辞を頂戴いたしました。

環境緑化事業への寄付金として十万円を北海道森と緑の会へ贈呈いたしました。

記念講演は、医療法人五輪橋産科婦人科小児科病院名誉理事長医学博士丸山淳二氏が「経営者としての

健康管理」と題してユーモアを交えたご講演を頂き、今後の健康管理に大いに参考となったところであります。

記念事業最後の祝賀会は、社会長の挨拶の後、上野森林整備部長の乾杯の発声で祝宴となり、創立当時の思い出話しに花が咲くなど楽しいひと時となりました。

祝賀会終宴は北海道国有林採石協会石田副会長が、「北海道国有林採石協会は本日新たな一步を踏み出しました。皆様には、これまで同様、変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます」と述べられ、一本締めで祝賀会の中締めといたしました。

翌日16日(金)、創立30周年記念ゴルフコンペを札幌南ゴルフクラブ駒丘コースで開催し15名が参加致しました。

栄えある優勝は三ツ輪砕石(株)の高橋政史さん、準優勝は杏形採石工業(株)の総万優さん、三位は青木鉱業(株)の青木伸さんとなりました。

北海道国有林採石協会創立30周年記念事業にご参加頂きました会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。



**=軽油引取税課税免税措置の恒久化で要請=**

道路特定財源が4月から廃止され、砕石業等には課税免税措置が平成21年度から3年間の措置として継続されています。

砕石業界にとって、課税免除措置が廃止された場合32.1円/m<sup>3</sup>が増税となり経営状況は益々悪化することは明白であることから、8月10日に北海道砕石協同組合連合会は北海道砂利工業組合と連名で北海道中小企業中央会会長に、また、8月18日、(社)日本砕石協会北海道地方本部は(社)日本砂利協会北海道支部と連名で北海道経済産業局鉱業課長へ軽油引取税課税免除措置の恒久化について要望書を提出するとともに、上部組織に対しての進達を要請したところです。

**第38回「採石業務管理者試験結果発表」**

10月8日に行われた第39回採石業務管理者試験の結果が11月5日に発表されました。

	◆全国	◆北海道
出願者数	1,311人	90人
受験者数	1,269人	87人
合格者数	404人	30人
合格率	31.8%	34.5%

**\*\*「編集後記」\*\***

「北海道砕石だより」第121号を遅くなりましたがお届けします。今年も残り少なくなり、会員各社事業の追込み中であると思います。今年はずいぶん話題に乏しい一年でしたが、道本部管内での重大災害を発生させることなく、一年を締められますようご祈念いたしております。

編集事務局一同